

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪観光ビジネス学院
設置者名	学校法人 花園南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	観光ビジネス学科	夜・通信	1880	160	
文化教養専門課程	外国語学科	夜・通信	1880	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所に設置し閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪観光ビジネス学院
設置者名	学校法人 花園南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所に設置し閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学の教授	2017.4.1 ～ 2020.3.31	本学院の理解を深めるため、授業、研究、就職支援、課外活動や視察、リスクマネジメントなどの研修を行う。
非常勤	専修学校の教務主任	2017.4.1～ 2020.3.31	本学院の理解を深めるため、外国人留学生に対する教育の指導、在籍管理などの研修を行う。
(備考) 次期の役員については未定、任期は3年、再任も有り。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	大阪観光ビジネス学院
設置者名	学校法人 花園南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画については、校長が主導して教育課程編成委員会を編成し、前年度授業計画及び授業実績を基に、次年度授業計画編成にあたっての意見交換及び編成方針を策定し、その編成方針に沿って学内の教務会議で具体的な授業計画を策定している。シラバスについては、授業計画編成方針及び具体的な授業計画を教科担当教員に説明を行った上で、教科担当者に授業計画案を策定してもらい、内容確認の上、シラバスとして作成している。また、作成したシラバスは年度初めのオリエンテーションにおいて学生に配布し、教育課程編成趣旨の説明も合わせ概要の説明を行っている。各教科目のシラバスについては、年度最初の授業冒頭において、担当教員から授業の流れ、到達目標、使用教材及び評価方法など具体的な説明を行っている。</p>	
授業計画の公表方法	事務所に設置し閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価の方法</p> <p>履修した授業科目の成績については、筆記試験と平常点とを合わせて100点満点とする。</p> <p>①筆記試験 素点×0.7 最大70点とする。</p> <p>②平常点 30点。このなかには、出席回数、レポートなどの提出物、授業態度を勘案して点数化する。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、履修科目の成績評価を下記の図のとおりグレードとポイントに変換し、学習成果の確認、学生の自律的な学修の促進、および学生に対する修学指導などに活用している。算定方法は学生に明示しており、学生の履修結果を成績証明書に表示され、奨学生や優秀者の選定における客観的な指標としても活用していきます。

G P Aの算定方法は、次のとおりである。

$(4 \times \text{秀の修得時間数} + 3 \times \text{優の修得時間数} + 2 \times \text{良の修得時間数} + 1 \times \text{可の修得時間数}) \div \text{総登録時間数 (不可の時間数を含む)}$

この算定方法は「学生ハンドブック」にも明記し、「学生ハンドブック」はWEBサイトにも公開いたします。

学科・学年のG P A分布状況は、前期・後期の成績評価後に統計化し、学生の授業理解度や修学状況を適切に把握させていきます。

客観的な指標の算出方法の公表方法は以下のとおりといたします。

「学生ハンドブック」

「履修要綱 4 成績」octb.ac.jp

評価	点数	グレード	ポイント
秀	90～100点	S	4
優	80～89点	A	3
良	70～79点	B	2
可	60～69点	C	1
不可	59点以下	F	0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

事務所に設置し閲覧可能

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>①観光ビジネス学科・外国語学科ともに1760時間以上修得したら卒業を認定する。</p> <p>②卒業認定に伴う詳細をウェブサイトで公表する。</p> <p>③GPA方式にもとづき学習成果の確認、学生の自律的な学修の促進および学生に対する修学指導をおこなっている。あわせて、卒業に関しては修得単位不足者に対する注意喚起をおこなっている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>事務所に設置し閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪観光ビジネス学院
設置者名	学校法人 花園南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所に設置し閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	//
財産目録	//
事業報告書	//
監事による監査報告（書）	//

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		商業実務	観光ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 単位時間/単位	1600時間	80時間	80時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		132人	132人	3人	17人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）本校は学則に明記のとおり教育理念に基づきディプロマポリシーの達成のために各学科に必要な授業内容・方法、計画、到達目標や他の事項を記入したシラバスを作成し成績評価・基準のとおり授業科目の学習成果の評価を行い、単位授与、履修認定を行う。各学科でのガイドラインを定め、教育目標、到達目標を講師会等で教師に周知し、学生にも授業の初回に具体的かつ明確に記載した年間の授業計画を配布して説明し、ウェブサイトにも公開いたします。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価の基準 点数（評語 内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・90～100点 S（秀） 学修の成果が到達目標を十分に達成し、特に優れた成績をおさめている。 ・80～89点 A（優） 学修の成果が到達目標を十分に達成し、優れた成績をおさめている。 ・70～79点 B（良） 学修の成果が到達目標を達成している。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 60～69 点 C (可) 学修の成果が到達目標を最低限達成している。 ・ 59 点以下 F (不可) 学修の成果が到達目標を達成していない。
卒業・進級の認定基準
(概要) 授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 所定の修業年限以上を在学し、課程を修了したと認められた者には卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識、技術等の高度化に対応できる教育支援の整備を図ります。 ・ 中退者を出さないための効果的な指導法を研究します。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
52 人 (100%)	10 人 (19.2%)	32 人 (61.5%)	10 人 (19.2%)
(主な就職、業界等) 航空業界、ホテル業界、観光業界、派遣業界			
(就職指導内容) ホテルの支配人や豊富な経験のあるツアーリストなどが具体的にきめ細かく学生の就職指導をしています。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 旅行業務取扱管理者・サービス接客検定・ビジネス検定・貿易実務検定・観光英検 TOEIC・日本語能力試験 N1、N2			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
128 人	31 人	24.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職、進学) のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教材研究や指導法の改善につとめ、学生一人ひとりに合った教育支援をしています。具体的には、学生を認めはげます取組をしています。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		文化・教養	外国語学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1760 単位時間／単位	1680時 間	時間	80時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		63人	63人	2人	7人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）カリキュラム添付</p> <p>カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）本校は学則に明記のとおり教育理念に基づきディプロマポリシーの達成のために各学科に必要な授業内容・方法、計画、到達目標や他の事項を記入したシラバスを作成し成績評価・基準のとおり授業科目の学習成果の評価を行い、単位授与、履修認定を行う。各学科でのガイドラインを定め、教育目標、到達目標を講師会等で教師に周知し、学生にも授業の初回に具体的かつ明確に記載した年間の授業計画を配布して説明し、ウェブサイトにも公開致します。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価の基準 点数（評語 内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 90～100 点 S（秀） 学修の成果が到達目標を十分に達成し、特に優れた成績をおさめている。 ・ 80～89 点 A（優） 学修の成果が到達目標を十分に達成し、優れた成績をおさめている。 ・ 70～79 点 B（良） 学修の成果が到達目標を達成している。 ・ 60～69 点 C（可） 学修の成果が到達目標を最低限達成している。 ・ 59 点以下 F（不可） 学修の成果が到達目標を達成していない。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。 所定の修業年限以上を在学し、課程を修了したと認めた者には卒業証書を授与する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識、技術等の高度化に対応できる教育支援の整備を図ります。 ・ 中退者を出さないための効果的な指導法を研究します。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	9人 (39.1%)	8人 (34.8%)	6人 (26.1%)
(主な就職、業界等) 航空業界、ホテル業界、観光業界、派遣業界			
(就職指導内容) ホテルの支配人や豊富な経験のあるツアーリストなどが、具体的にきめ細かく学生の就職指導をしています。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 旅行業務取扱管理者・サービス接客検定・ビジネス検定・貿易実務検定・観光英検 TOEIC・日本語能力試験N1、N2			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	29人	46.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更（就職、進学）のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教材研究や指導法の改善につとめ、学生一人ひとりに合った教育支援をしています。具体的には、学生を認めはげます取組をしています。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
観光 ビジネス	50,000 円	660,000 円	50,000 円	
外国語	50,000 円	660,000 円	50,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所に設置し閲覧可能
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校は教育活動及び運営についての到達目標を設定し、達成状況や達成への取り組み等を行い、自己評価を実施し公表する。これにより組織を継続的に改善を図る。自己評価の結果は卒業生・関係業界・有識者などの学校関係者による評価を実施し公表することでの理解促進と連携協力による学校運営の改善を図る。以上をもって学校関係評価を確実に実施し、2020年度よりその結果を公表するために委員の選任を行い、同年度より評価を確実に公表する。 (目的) 本校は、学校関係者評価委員会に関し、評価委員会規定を設け必要な事項を定める。 (設置) 本学院は、より実践的な職業教育の向上、技術の高度化に対応する為、教育活動の観察や意見交換などを通じて、自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く (委員の所属) 1) 大学関係者 1名 2) 教育関係者 1名 3) 地域住民代表 1名 4) 卒業生代表 1名 5) 理事長 1名 6) 学院長 1名 7) 学内理事 若干名 8) 教育に関する有識者 1名 (役割) 委員会は教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえ、評価し、その結果理事長に報告し運営の改善を図る (任期) 委員の任期は2年とし、重任、再任を妨げない。前項の委員に欠員が生じた場合の後任の任務は、前任者の残任期間とする。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020年度から確実に実施し、その結果を公表するために委員の選任を行います。		
学校関係者評価結果の公表方法		
2020年度から評価を公表する。		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所に設置し閲覧可能
--